

## サーチライト With Pastor Jon 創世記 6 章 パート 7

このメッセージはアップルゲート クリスマン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスマン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

---

**「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7**

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスマン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

戸は閉じられ、ノアは舟の中に封印されました。

そうです。神は私を戸の中に入れて救い、封印します。

それは、主イエスご自身のわざ。

その方法は、ただ一つしかありません。

私たちはそこに入り、戸は閉じられたのです。

これから見る通り、ノアとその家族は封印されます。

箱舟の戸に関して、ノアには一切の権限がありませんでした。

しかし、窓はコントロールすることができました。

箱舟には窓もありましたよ。

### 箱舟に天窓を作り (創世記 6:16)

彼らは、戸の操作はできなくても窓は開閉できました。

窓を開けるも閉めるもノア次第。

では、窓の役目は何でしょう？ それは、光を取り入れること。

私たちが乗っている救済船で、自分が実際にコントロールできるのは、どれだけの光を自分の心に入れるか、どれだけの明かりを自分の思考に取り込むか、ということ。

### あなたのみことばは、私の足のともしび (詩篇 119:105)

とてもシンプル。

どれくらいの光で人生を導くか、人生をどのように理解し照明を当てるか。

自分の思考のどれだけをみことばが占めるのか。

聖書の学びにどれだけ力を注ぎ込むか。

それを選択する。全て自分次第です。

箱舟の中であっても、真っ暗な所にいることもできますよ。

でも、窓を開けて、視界に光を取り入れることもできます。

ちょうど私たちが今夜しているように、みことばを学んでいることによって。

**真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。(IIテモテ 2:15)**

私たちはコツコツ努力しています。

でも、ある時はテレビのクイズ番組を見てしまいがちだし、朝、聖書を読むよりもゆっくりと寝ていたい時もあるれば、みことばを学ぶ時間が取れないこともあるでしょう。

分かりますよ。

それでも、敢えて、窓を開けることを選択する。

それだけが、人生を明るくし、光の中を歩く方法です。

みことばは魂を満たし、思考を新しくするともしび、光であることを認めるのです。

とてもシンプル。

これに関してはたくさん語ることができるし、箱舟についても色々議論して、じっくり考えることができます。

その中で、今夜、私がお話したいと思った理由はこれ。

正直に言うと、私にも大変な日があるし、いっぱい、いっぱいだと思う時もあります。

ほとんどの人が、そういう時を経験したことがあるでしょう。

私も 22 年前 (\*1975 年頃) のあの日は、本当に辛かった。

「今日はそんな気分じゃない。」「決めなきゃいけない事があり過ぎる。」

「次から次へと問題が…。もう、何もしたくない…」

肉体的にも精神的にも、様々な問題が起こってくる。

色々な事が続いていて、私はそれを感謝していますが、時には精神的に打ちのめされ、またある時は、霊的な落ち込みを感じます。

「なぜ、これをしているんだ!？」「何なんだ? もういい!」

「こんな事をして、何になるんだ!？」のように思ったことはありませんか?

解決はこれです。ここの、このストーリー。

『私たちは救われ、天国に行く。』

これが全て。全ての答え。肝心要の結論です。

ミニストーリーのこと、ある夫婦の必要、できるであろう事をやっていない人たち、経済的なプレッシャー、何にしろ、問題がこじれ、どんどん複雑になっていることに気づいて、「ちょっと待って! これは一体、何なんだ!？」

そこで、ハタと思い出す。

「そうだ! 私たちは永遠に向かって航海してるんだ! その事実が全てだ!」

「私たちは救われた! 救われたんだ!!」

「私は救われている！ 私は救われているんだ!!」

「私は溺れ死んで地獄に墮ちることから、激しい苦痛に突っ込んで行くことから、救われている。」

「私は地獄に行かない。天国に行くんだ。私の罪は赦され、救われている。」

「私は箱舟の中に入っている。1階にいる子供だとしても、2階の若者とか3階の父親だとしても、何階であろうと関係ない。変な鳥がいる巣でも構わない。私は舟の中にいる。何階でも、だれと一緒にいても、私は中にいるんだ！」

「窓が全開で光がいっぱい満ちていても、愚かさや無関心や怠惰の故に、ほんの僅かな光しか取り込んでいないにしても、中にいる！ 救われている！」

時には、ミニストリーの真ただ中で、神学のことや経済的問題や働きなど、様々なことに押し潰されそうになる。その時、気がつくのです。

「私は救われているんだ！ これだ。まさにこれなんだ！」

皆さん、本当に分かっていますか？ 本当に？

私は自分を見失って、とんでもない人間になっていたかもしれません。

地獄に墮ちて、火の池で永遠に焼かれ続けていたかもしれない。

他の魂を、絶対に永久に見ることができない真っ暗闇の中で、福音を聞いたのに拒絶したという記憶に絶えず苛まれ、嘆き、歯ざしりしていたかもしれないのです。

私は永遠に地獄にいたかもしれない…

皆さんも同じです。

私たちはみな、罪人だから。

しかしこの日、8人の人だけが生きて箱舟に入ることを許され、神が戸を閉めました。

突然、嵐の中を通り、大波小波が続き、舟の中では悪臭もするし、疑問を持ったこともあったでしょう。

それでも！ 彼らは新しい世界へと向かっていったのです。

水で清められた新しい世界で、新しい人生を始めるために。

これはまさに、あなたや私が今置かれている状況を表しています。

皆さん、私たちはなぜこんな事をしているのか、なぜ今夜ここにいるのか、どうして子供たちに話すのか、どうして朝祈るのか、なぜ献金するのか、コツコツ励むのか。

それは、私たちが救われているから。

救われた。木のやにが内にも外にも塗られている。

JD ロックフェラーが発見したどんな石油にも勝るキリストの血によって、私たちは救われたのです。

それが全て。他はどうでも良い。私は救われた！

だから、あなたも私も、他の誰かが救われるように手助けができるのです。

バヌアツでの開拓宣教で、誰かを救うために努力することは、大変価値のあることです。

日曜の夜、ひざまずいて祈ることで、誰かが暗闇から抜け出す力がもたらされて救われるなら、祈りましょう。

サマーキャンプで小学生が主に心を開くなら、こんな尊いことはありません。

やろうじゃないか！ 全ては救いのため！

でも、主と共に長年歩んで来た私たちは、「分かった、分かった。はい、はい。」と軽く考えて、やらない。これが問題なのです。

他の何でもない。「私は救われていて、地獄へは行かない。だから、誰かが救われるためには、何だってするんだ！」これが全て。

たとえ悩まされても、傷ついても、お金がかかっても、それでもいい！

なぜなら…なぜなら、私は救われていて、天国に行くから。

これを手放さないで！

聖書の奥義の理解にとらわれ過ぎて、全てのことの根本である、

**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネ 3:16)**

を見失わないように。

今夜帰宅して、「明日、フィラデルフィアに行きたくないなあ。朝の 5 時半に家を出なきゃならないし、飛行機も嫌いだ。いつも気持ち悪くなって吐いてしまうんだから。

ほんと、行きたくない。多分帰りは土曜日の夜中で、日曜日はまた礼拝で説教だし…

もう、考えただけで疲れる。それなのに、本当に行くんだらうか？」

その時、思うのです。

「私は救われている。だけど、救われていない人がたくさんいる。

私は天国へ行く。でも、私の周りでも、恐ろしいほどたくさんの方が地獄へ行く。」

それが現実です。それが正真正銘の真実なのです。

私は天国に行く。妻も。ベンもメアリーもピーターも。

クリスティーは…？ クリスティーも！ ジェシーは天国にいます。

素晴らしい。本当に素晴らしい。

だから私は「Yes！ 主よ。」と言います。

なぜなら、世はもうすぐ火で裁かれるから。

「主が、私と家族を救って下さった。」

この事実を深く思うだけで、生涯、至福の状態です。

ジュディ、君も天国へ行く。これはミラクルだよ。そんな筈じゃなかったのに…

でも、神が手を伸ばして君を救いの箱舟に押し入れ、君の後の戸を閉めたんだ。

ここには、神が戸を閉めたと書かれています。

神が閉じたのです。

ジョシュアも救われました。天国へ行きますよ。本当に驚くばかり。

ロブ、君はめちゃくちゃで、とんでもない方向へ向かっていたけど。

それから、私もリックもジェレミーもブラッドも。

私たちは、この世で実に汚くて、卑劣で、病んだ人生へと向かっていました。

それでも、地獄に比べるとずっとマシですが。

神は、「ロブ、おいで。箱舟にお入り。」そう言って、中に入れました。奥さんも一緒に。

「みんな、“つがい”で入っておいで！」「ここがキミたちの居場所だよ！」と。  
どの階に行くか、なんて関係ない。

昨夜は…ずいぶん前のことのように思えますが、創世記 6 章と 7 章を学びました。  
でも、今夜はここで止めておきましょう。とても祝福されたから。  
7 章はその内にかしまししょう。埋め合わせはします。  
続きを学びたい人は、来週の木曜日、スピードアップして予定のところまで追いつきましょう。  
私たちは救われている！「そうだ！」(\*会衆の声)  
君も救われているよ！

今日はこの節で終わりです。

**ノアは、すべて神が命じられたとおりにし、そのように行った。(創世記 6:22)**

もし、ノアが、神の命じたことを全て行わなかったとしたら？  
神の命じた大きさに仕上げたけど、屋根をつけなかったとしたら？  
ノアが、“そこそこイイ感じ”に仕上げ、「ま、こんなもんでしょ？」なんて言ったとしたら？  
大惨事になっていたでしょう。  
大工のノアは全て神の命じた通りに行い、箱舟、救いの場を造り上げました。  
もし、ノアが造り終えていなかったら？  
私たちは、今ここに存在していません。  
私たちはみんな、ノアに繋がっていることが分かりますか？  
以前、アダムが我々の共通祖先であることを話しましたね。それは事実です。  
そして、ノアはアダムよりもより近い祖先で、私たちはみんなノアの子孫なのです。  
「知らなかったよ！」ほんとですよ。

私たち一人ひとりがノアの子孫で、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、ひい、曾おじいさんのノアが、目の前に課せられた仕事を果たしていなかったら、  
私たちが今ここで集まることはなかったって知っていましたか？  
だから、「主よ、あなたが命じたことを、全てその通りに行えるように助けて下さい。」「主が私に与えた仕事を行えるように助けて下さい。」  
「主が私に望まれることをできるように助けて下さい。」  
「主よ、あなたは私の人生に計画を持っておられ、いつでも力を与えて下さることも知っています。」と祈るのです。

**わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。(マタイ 11:30)**

何であれ、私は今夜、更に偉大な大工イエス・キリストが、まさに神が命じた全てを成し遂げて下さったことに、とても感謝しています。  
イエスはゲッセマネの園で祈りましたね。  
「父よ、あなたを称えます。わたしは命じられた全てを終えました。」  
そして、十字架にかかるという、彼がしなければならなかったことを成し遂げました。

使命を終えた。

イエスが十字架上で叫んだことは、「完了した」(ヨハネ 19:30)

ガラリヤ出身の大工は使命を完了しました。

あなたと私のために。私たちを救うために。

私たちは救われ、天国へ行きます。

これで全て繋がりますね。

「でも、失業したんだ。」 だから？ あなたは救われています。

「妻が出て行った。」 知っているよ。でも、あなたは救われている。

「関節炎で痛いんだ。」 だけど、あなたは救われています！

「車が動かない。」 でも、あなたは救われているのです。

『救われている』 これがどういうことなのか、分かりますか？

私たちは箱舟の中に入って、戸がバタンと閉じられ、救われました。

地獄へ向かっていたのに、天国へ行くのです。救われている！

「神よ、そのことを理解できるように力を与えて下さい。」

自分が誰よりも祝福された者であることを忘れないように。

今、どんな試練に直面していようとも、あなたは最も祝福されています。私もです。

なぜなら、私たちは救われているから。

地獄には行かないから。天国へ向かっているから。

お父様、ありがとうございます。ノアの話に感謝します。

そして、あなたの御子が私たちのために成して下さった、更なる偉大な使命、真実で確かで平安な、真の救いのわざを感謝します。

お父様、今日の学びから、私たちは皆、最終目的地へ向かっていること、あなたの子供たち全員に部屋が用意されていることを覚えます。

あなたは言われました。

**だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。**

**古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(IIコリント 5:17)**

箱舟の中で、あなたの奇跡によって、被造物である全ての生き物が、ライオンと子羊、ネズミとヘビが調和し、共に過ごしたように、私たちが互いにいがみ合い、貪り、傷つけ合うことのないように。

主に在って救われたことを理解し、互いに真実の愛を持ち、共に進んで行けますように。

イエスの御名によってこの祈りを献げます。

こうしたことのため、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。

どうか私たちの神が、あなたがたを召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を求めるあらゆる願いと、信仰から出た働きを実現してくださいますように。

(IIテサロニケ 1:11 新改訳 2017)